

# 昨年上回る規模で10月開催 申込最終受付!

## 新規・復活出展が大きく増加 出展予定企業を一挙公開

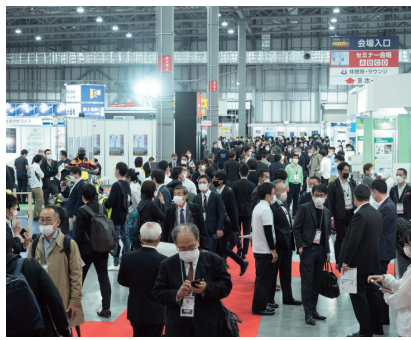
国内最大級の危機管理総合トレードショー「危機管理産業展(RISCON TOKYO)」と国内唯一のテロ対策専門展示会「テロ対策特殊装備展(SEECAT)」が、10月5日(水)から7日(金)の3日間、東京ビッグサイト西1・2ホールで開催される。国内の展示会がかつての盛り上がりを取り戻す中、本展にもリアル展示会でのPR活動を再開しようとする出展者や新規出展者からの問い合わせが途切れない。長期化したコロナ禍で失った商談機会を取り戻したいという積極的な企業が集まってきており、今年のRISCONとSEECATは既に前回は大きく超える出展規模となっている。事務局では8月初旬公開に向けて会場レイアウト作成を進めており、検討段階の企業には早めの申込を呼び掛けている。本号では分野ごとの一部出展者を紹介。次ページには約320社の出展企業を一挙公開する。

### 危機管理産業展 (RISCON TOKYO)

#### 防災・減災

全国各地で地震や水害が相次ぐ中、RISCONの「防災・減災」分野には、昨年以上の出展者が出揃った。防災セキユリティ製品を取り扱う家電が今年も大型ブースでの出展を決定したほか、カワサキモーターは多用途4輪車の実機展示を予定。高知県産業振興センターは防災先進県「高知」の防災関連製品を多数展示する。

3つの特別テーマには注目の出展者が多数集まった。「災害に強いまちづくり」では佐々木電機本店の拡声放送機器の提案、古野電気は数千口先までつながるワイヤレスカメラでそれぞれ初出展を決めた。「気象災害対策」では、浜口ウレタンが分割式のウレタンポットを展示。三洋は吸水バッグをはじめとしたオリジナル災害対策品を紹介。大原鉄工所は気候変動危機に対する多様なソリューションを提案する。「避難所・備用品/帰宅困難者対策」にも多種多様な資機材



#### BCP・事業リスク対策

展示が充実する。MIRAILABOは出展規模を拡大。船山は防災備用品や消防向け製品を中心に展示予定。軽トラックタイプ移動電源車を実機展示する東京電機の初出展も決定した。

事業活動における多種多様なリスクへの対策。提案が今年も集まる。特別テーマ「緊急時ライフライン確保」には災害時の事業継続に備えるための提案が集結。災害時燃料配送サービスの三和エナジーは大幅に規模を拡大して車両を展示する。日本通信ジコムは衛星携帯電話と高速データ通信端末サービスを提案。川崎重工業は災害時でも安心の空気環境を創出する膜式CO2除去装置で出展を決めた。「労働安全/保安用品」では作業現場での安全に繋がる製品。資機材が展示される。保護コーキングや呼吸用保護具を取り扱う山本光学が今年も出展を決定。ゴールドウインは水難山岳救助に採用されている製品を紹介する。帝健は高機能の耐熱耐切削防護製品を展示予定だ。

#### セキユリティ

無差別犯罪事故から人々を守るための製品。資機材が充実しそうだ。特殊警備用品のシエウインが久々の出展を決めたほか、フルカラー暗視スコープ等を取り扱う阪神貿易が多数の海外キアを展示予定だ。初出展のブラックユニバースエントテイナーはトレーナングドアや作戦服を展示する。

特別テーマ「パブリックセーフティ」では、公共交通機関や公共空間におけるあらゆる犯罪事故への対策が集まる。スリーライクは大型ブースでの出展を決め、車両防止装置をはじめとしたテロ

向けの警備用資機材を多数展示する予定だ。日本信号はウォークスルーにて危険物の自動検出が可能でセキユリティゲートを展示する。



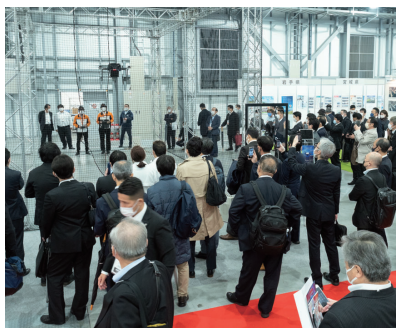
#### 危機管理DX・サイバー対策ソリューション

少子高齢化による労働人口減少やコロナ禍の影響で変化したビジネスシーンに対応していくための、官民問わずDX推進が喫緊の課題となっている。併せて「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」では、危機管理分野でのDX化とサイバーセキユリティ対策を推進する。キャンソートソリューションズは新製品「カメラ地図連携アプリアンス」で、自治体の防災を支援する。ALL LINKAGEはアプリによる危機管理・防災対応スマートシティの実現を提案。クローノジー型危機管理情報共有システム「災害ネット」を出展するBIPROGYはリモートによる全社情報集約・共有の支援を提案する。QUADRA PLANNINGは日本での唯一の「海洋位置まもり」装置を展

#### 危機管理ドローンソリューション

示。オーシャンブリッジは不正アクセス/内部不正対策ツールを紹介。組織内のサイバーセキユリティ対策をサポートする。

有人地帯での目視外飛行「レベル4」を2022年度に実現させるために必要な航空法の改正案が国会で可決され、今後ドローンの活躍の場が広がっていくことが期待されている。併せて企画「危機管理ドローンソリューション」では(JUDA)の企画協力の下、ブース出展やセミナー講演を通して危機管理分野におけるこれからのドローン活用を提案する。スリーライクはこの分野でも大型ブースでの出展を決定。水中ドローンやドローンハンター等の多様な展示に期待したい。初出展のマツニ方はカウンタードロームを展示予定。セキユリティ分野でのドローン活用を提案する。



#### 感染症対策 TECH

新型コロナウイルス感染症の脅威はやや落ち着いた様子を見せてはいるものの完全な収束には至っておらず、日常的な対策は未だ必要な状況だ。また、避難所等における複合災害への備えとして、防災減災と併せての対策も講じておく必要がある。企画展「感染症対策TECH」では、感染症対策に役立つ資機材を提案する企業が集まる。初出展の特殊電機はコンパクトオン発生器を展示。メッツは紫外線照射システムや室内除菌システム等による環境感染対策を紹介する。こちらも空間レベルでの感染症対策を提案する。

#### テロ対策特殊装備展 (SEECAT)



RISCONの同時開催展SEECATでも、2025年大阪関西万博へ向けて活発化する商談機会を逃すまいと新規復活出展者が多数出揃う。出展規模は3年ぶりに100小間を超え、前回を上回る規模となる。今年のSEECATの目玉は、テロ対策の重点課題にフォーカスした4つのテーマ展示。「港湾警戒 水際対策」では水中音響カメラ等を展示する東陽テクノカやモバイルデータ抽出解析を紹介するMSAB Japanが出展を決めた。「ソフトターゲット対策」ではナスタインターナショナルがウォークスルー型危険物検知ゲートを展示。サノヤスエンジニアリングが車両進入防止装置を紹介する。「ロボット/ドローン活用対策」には東芝インフラシステムが対ドローンセキユリティシステムを提案。東北エントラプライズは四足歩行ロボットを展示。各種検知器を取り扱うエス・ティ・ジャパロと共同出展する。「CBRNEテロ対策」ではコンスタックノロジーが爆発物処理用ロボットを展示。理研計器は国産初の化学剤用IMS検知器を提案する。

継続出展者のスペース拡大も目立つ。個人装備品を取り扱うオペレーション・トレーニングサービスや止血資器材のフジタ医療器械のほか、東芝インフラシステムス、東洋テクノカ、ハイテクインター、ロボテックスセンター、ジャパンなどが小間数を増やしての出展を決めた。テロ対策に関わる製品が集結するSEECATには、警察、消防、自衛隊をはじめ出入国在留管理庁や公安調査庁などの治安関係者からの期待も高まっている。

**出展予定企業約320社 一挙公開!**  
一覧を次ページに掲載

RISCON			CORNERS
<b>あ</b>			SALTO Systems
アイコム	ジェイウィン	ニシヤマ	<b>SEECAT</b>
アイテックス	JX通信社	日本海洋	<b>あ</b>
i-PRO	ジェービージェネレーターズ	日本災害食学会	RSダイナミクス
アキレス	JERA	※アルファード食品	アイ・アール・システム
足立織物	重松製作所	※エア・ウォーター	赤尾
アンリツ	四国紙販売	※尾西食品	アトス
イーストアイ	静岡県防災用品普及促進協議会	※亀田製菓	アルウェットテクノロジー
イー・ダブルユ・エス	※静岡地震防災センター	※カゴメ	アルゴ
移動無線センター	※ふじのくに静岡防災事業協同組合	※サタケ	イオンインターナショナル
医療・健康社会研究所	自治体DX白書	※鈴廣かまぼこ	インフォマティクス
WIZ	芝浦電子工業	※セイシン企業	ウッズ
右川ゴム製造所	昭電	※大東力カオ	EIZO
ウチヤマコーポレーション	庄の屋	※ハウス食品	エーディーエステック
※東洋コルク	シンクロアイズ	※ホリカフーズ	エーティ コミュニケーションズ
エアロファシリティー	神鋼造機	日本信号	エスアンドカンパニー
エイアンドエイティ	Spectee	日本総合施設	エス・ティ・ジャパン
エイブル山内	スリーディー	※ジェドスタイル	エム・エー・ジェー
※日本エンコン	スリーライク	※住友商事マシネックス	MSAB Japan
エジソンハードウェア	世田谷工業振興協会	日本耐震設計	MS.Project
SIP「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」	Seven Seas Planet	日本デジコム	オブテックス
エスアンドカンパニー	全国警備業協会	日本防災士会	オペレーション・トレーニング・サービス
エミック	センチュリー	※日本防災士機構	<b>か</b>
エルピーガス振興センター	Soilook	※防災士研修センター	ゲネシスコマース
オーシャンブリッジ	総合サービス	ネクセライズ	ケン・オートメーション
オーストリッチインターナショナル	総務省 消防庁	能美防災	コーンズテクノロジー
オーパス・クリエーション	ソフトバンク		<b>さ</b>
大原鉄工所	<b>た</b>	<b>は</b>	サイバーディフェンス研究所
ALL LINKAGE	大学産業	浜口ウレタン	サイマルテニアス
オルテック	TASKMATE	パロンゴ	サノヤス・エンジニアリング
オンリースタイル	塚本	阪神素地	※帝金
<b>か</b>	オルテック	阪神交易	シープレックス
川崎重工業	オンリースタイル	BIPROGY	七洋交産
カワサキモーターズ	帝健	ファクトリーゼロ	ジャパンセル
※カワサキモーターズジャパン	帝国繊維	ファロー・ジャパン	セキュリティ
カワハラ技研	テクノグリーン販売	バイキューブ	※ノーベルアームズ
関西ペイント	テレネット	福島県廃炉・災害対応ロボット研究会	ソリッド・ソリューションズ
キャノンITソリューションズ	東京アールアンドデー	※イームズロボティクス	ソリトンシステムズ
玉島産業	東京電機	※大同信号	<b>た</b>
緊急地震速報利用者協議会	東京都中小企業振興公社	※日本工機	Chainalysis
※ANET	※アールシーソリューション	※日本遮蔽技研	テクノサイエンスシステムズ
※JEFコムサービス	※アクシス	※NESI	東芝インフラシステムズ
※ストラテジー	※イーコース	※ロボデックス	東北エンタープライズ
※チャレンジ	※イトラスト	富士グループ	東陽テクニカ
近代消防社	※イガラシ	船山	<b>な</b>
QUADRA PLANNING	※イルカカレッジ	ブラック・ユニバース・エンティティ	ナスクインターナショナル
クマヒラ	※ウオールナット	古川エージェンシー	日本エヤークラフトサプライ
クリロン化成	※エヴィクサー	古野電気	日本エンジニアリング貿易
K M T e c	※NCCコンサルティング	フロムハート	日本オートマテック・コントロール
KEIKAコーポレーション	※海洋先端技術研究所	防衛省 航空自衛隊	日本海洋
高知県産業振興センター	※金澤製作所	防災安全協会	日本原子力研究開発機構
※三昭紙業	※ガリレオ	ホーチキ	日本工機
※高階救命器具	※カルモア	北陸ウェブ	日本通信エレクトロニクス
※タナカショク	※コデン	ボレー・ブランド・ジャパン	ネクシス光洋
※マシユール	※札幌施設管理	ホンダパワープロダクツジャパン	<b>は</b>
※丸英製紙	※三和商事	<b>ま</b>	ハイテクインター
ゴールドウイン	※Spectee	まいにち	ハナイ
コーワテック	※大幸紙工	マクニカ	フジタ医科器械
コントロールリクスグループ	※デザインアンドイノベーション	※アナログ・デバイス	※Vanad Training and Consulting
コンビウイス	※テレネット	ミヤサカ工業	富士フィルムイメージングシステムズ
<b>さ</b>	※テレパワー	MIRAI-LABO	ポニー工業
埼玉通商	※トーコン	みるくる	Bohemia Interactive Simulations
サイテックス	※トップウォーターシステムズ	ムラカミ	炎重工
サイトロンジャパン	※トライボッドワークス	メッツ	<b>ま</b>
坂謙	※トラジェクトリー	メテックス	ミニエアロスペース
櫻護謨	※ニツク	モバイルクリエイト	三井物産エアロスペース
佐々木電機本店	※日本マルチメディア・イクイップメント	<b>や</b>	MILITIVE
※LRテクノジャパン	※白山工業	矢崎化工	メトロームジャパン
※CSR	※ピーテクノシステム	やまぐち産業振興財団	<b>ら</b>
佐野機工	※マイクロテック	山本光学	リアルピス
サポートマーケティングサービス	※リアルワールドゲームス	横田瀝青興業	リガク
サンエナジー	※ワールドフュージョン	<b>ら</b>	理研計器
三洋	トーハツ	ライカジオシステムズ	ロボティクス・センタージャパン
三和エナジー	トーヨーセフティー	ルミテック日本	※Almata Global
※大同井本エナジー	特殊電機	Resilire	※シマツプレジジョンインストルメンツインク
※ヒラオカ石油	トラスティア	レッツ・コーポレーション	
シーエーブランド	<b>な</b>	<b>わ</b>	
	ナスクインターナショナル	和光機械工業	
	新潟県/中越防災安全推進機構	<b>海外</b>	